

池原 昭治

さやまの伝本

おとつかの嫁入りの話

武蔵野一帯には昔から「おとつかの嫁入り話」が多く語られています。おとつかとは、このあたりでは狐きつねのことで、稲荷社の家来だともいわれています。

「ああ、おらも見たことがあるべえ」八十歳を過ぎたぐらいの老人はたいてい「おとつかの嫁入り」を目撃したといっています。市内入間川では、稲荷



山の坂道あたり、鳥居のところが狐の行列が通りぬけたとか。入間川ガシヤ山でも、小雨の降る夕方あたり、よく見られたそうです。入曽では、水野の山雑木林で横に長い狐の行列が見られたといえます。堀兼・青柳の第六天周辺の杉の根元から、川越方面に向かって狐の行列が見えたり…。奥富・川向こうの柏原、城山しろやま跡で、「おとつかの嫁入り」を見たといっています。

水富・広瀬では、入間川の根っこ稲荷から向こう岸、黒須入間市くろすまの方向に向かう狐の行列を見たそうです。また、昔から日が照っているのに雨が降ることを、まるでおとつかの嫁入りのようだべえ」と言ったそうです。昔は市内至るところで不思議な現象が見られたという、狐にまつわるお話でした。



市民の作品展 童句

童句は、自分が童心に帰って詠む俳句です。狭山童句研究会の選による作品を掲載しています。

- なまず住む 川を探検 夏休み 野口 昌美
- 朝顔の とくいのわざは のぼり棒 笠本 歩実
- かつこう聞く 少し静かな 給食時 ひろさわ なつみ
- 鳥になり 泳ぐプールの 青い空 岩間 喜久子
- 目で追えた 人工衛星 キャンプの夜 だいくす 朋子
- ちちははに かこまれている うきぶくろ 土家 由岐雄
- 創始者 土家 由岐雄

編集後記

智光山公園の都市緑化植物園で開催されたアジサイ・山野草展に行ってきました。愛好家皆さんの思いが手の平に乗るほどの小さな鉢や石に山野の一角を切りとったように見事に再現されています。その草木は長い時間の経過の中で、さらに人の創造から自然そのものを形成し、訪れた方々を魅了していました。

東日本大震災の大津波は、人々の営みをおみくししましたが、そこに残された草木が芽吹き花を咲かせた映像が報道されました。ただただ生命の力強さを実感します。早期の復興とともに自然が再生し、被災された方々の心をいやしてくることを願っています。

分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょう？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課までお送りください。なお、答えと一緒に広報さやまを見て感じたことなど、ご意見もお待ちしています。締切り8月1日6月号の答え



8ページ・狭山の今昔物語「昭和39年の鶴ノ木交差点」の自動車の写真でした。

👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課) 7月1日現在。(内は前月比)

住民基本台帳人口	外国人登録人口
男 78,385人(-5人)	881人(-5人)
女 76,404人(-22人)	1,214人(-2人)
合計 154,789人(-27人)	2,095人(-7人)
世帯 64,287世帯(-9世帯)	1,520世帯(-4世帯)

6月の火災・救急件数(消防本部)

- 火災件数 1件(建物1件)
- 救急出動件数 452件(搬送人員418人)
- 交通事故・刑法犯罪件数(狭山警察署)
- 交通事故 1,491件(人身事故353件 内死者0人、物件事故1,138件)
- 刑法犯罪 896件(侵入窃盗59件、車上狙い173件、自動車盗等97件、その他667件)

平成23年1月1日~6月15日の累計(概数)

広報さやま Vol.672 発行日・平成23年7月10日 発行・狭山市 編集・狭山市総合政策部広報課 埼玉県狭山市入間川1丁目23番5号 FAX 04 2953 1111 Koto@city.sayamasaitama.jp 2954 6262

公式モバイルサイトの二次元コード 二次元コードに対応した携帯電話で読み取ると簡単にアクセスできます